

1. 基本情報

- (1) 国名：コンゴ民主共和国（以下、「コンゴ（民）」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：中央コンゴ州マタディ市
- (3) 案件名：マタディ橋道路整備計画（The Project for Improvement of Roadway of Matadi Bridge）
- (4) 計画の要約：本計画は、中央コンゴ州において、マタディ橋の橋面舗装の補修及びアプローチ道路の整備を行うことにより、安定的な物流・交通の確保を図り、もって同国の連結性強化及び経済開発に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

コンゴ（民）は、アフリカ大陸の中・南・東部地域に跨がる地政学的に重要な立地にあり、肥沃なコンゴ川流域とコバルト等の豊富な鉱物資源等を有する潜在的農業生産国かつ資源国である。90 年代以降の紛争や政情不安を経て、2018 年末には選挙による平和裏の政権交代が実現した。同国が取り組む平和の定着や持続的発展を支援することは、アフリカにおける民主化及び経済開発支援において我が国のプレゼンスを示す上でも意義が大きい。

同国におけるインフラの未整備及び老朽化は深刻な課題であり、国内最大の河川港湾都市マタディと首都キンシャサを繋ぐ陸運の要衝として重要な役割を担うマタディ橋も同様の問題に直面している。同橋は 1983 年に我が国の円借款によって建設され、以降、我が国の技術移転を受けたコンゴ（民）の自助努力による良好な維持管理を継続してきているが、開通から 38 年を経て橋面舗装打換えの必要性が生じている。他方、コンゴ（民）は 90 年代以降の紛争や政情不安により、経済的にダメージを受け、LDC となっており、当該費用を捻出することが困難。同橋は、1984 年の皇太子同妃両殿下（現上皇皇后陛下）ご視察もあり、また 2014 年 9 月の日・アフリカ地域経済共同体（RECs）議長国首脳会合のスピーチにおいて安倍総理（当時）が成功事例として紹介する等、二国間の友好関係の象徴となっており、本計画を通じて同国を支援する外交的意義は非常に大きい。

- (2) 当該国における運輸セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

コンゴ（民）は、国土面積は約 234 万 km²（日本の約 6 倍）、人口は約 8,956 万人（2020 年、世界銀行）、一人あたり GNI は 550 米ドル（2020 年、世界銀行）の後発開発途上国である。同国では、長年の政情不安や過去の内戦等を背景に、インフラの未整備及び老朽化が深刻な課題となっている。その結果、鉱物資源に恵まれ輸出品の約 9 割を石油・鉱物資源が占める一方、運輸インフラの未整備に起因する高い陸上輸送コストや延着等が社会・経済発展の阻害要因となっている。そのため、同国政府は、国家開発戦略計画（2019-2023）の重点分野に「インフラ整備」を掲げ、その一環として既存インフラの改修・保全に取り組んでいる。

同国の中央コンゴ州に位置するマタディ橋は、輸入貨物の約4割が荷揚げされる国内最大の河川港湾都市マタディ、同州内のマタディ港・バナナ港・ボマ港と首都キンシャサを繋ぐ陸運の要衝である。また、国内で生産される木材の一大生産地がコンゴ川下流域に位置しており、マタディ橋を経由して首都キンシャサを中心に供給されている等、マタディ橋は同国経済の発展にとって不可欠な橋梁である。

対コンゴ（民）国別開発協力方針（2017年9月）では、重点分野として「経済開発」が定められ、運輸交通インフラ整備を中心に、我が国の質の高いインフラ投資を通じたコンゴ（民）政府の経済発展のための取り組みを支援することとしており、本計画はこれら方針に合致する。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容：橋面舗装（722m）の補修（表層補修、基層の打換、鋼床版の錆除去等）、アプローチ舗装の修復（排水性路盤への置き換えまたは排水管等の整備）、路面の排水施設（排水側溝）の整備等。

イ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、施工・調達監理。ソフトコンポーネントでは、外注による補修工事を行うための技術指導を行う。

② 期待される開発効果

同国物流の要衝であるマタディ橋において、橋面舗装の打ち換え等の緊急的な補修を行うことにより、サハラ以南で第二位の都市圏人口を抱えるキンシャサと外港を繋ぐ国内輸送経路の安定と維持を実現するものであり、同国の連結性強化及び持続的な経済成長への貢献が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制：バナナ・キンシャサ交通公団（OEBK）

他機関との連携・役割分担：特になし

④ 運営／維持管理体制：OEBK は、日常的な維持管理は自立的に実施している。橋面舗装については、本計画のソフトコンポーネントを通じて仕様書作成や工事監督等に関する技術指導を行うことで、今後 OEBK 自身で外注補修工事及び維持管理できる体制等を整備する。OEBK では、橋の通行料を原資として、将来の維持管理費用を積み立てて補修を行う。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：B
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 他の援助機関の対応：欧州連合、世界銀行、アフリカ開発銀行等が港湾開発調査等の物流インフラ整備を実施しているが、マタディ橋に関する支援は行っていない。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

- ボリビア向け無償資金協力「日本・ボリビア友好橋改修計画」（評価年度2005年）の事後評価等では、橋梁の長寿命化における定期点検及び維持管理の重要性が指

摘されている。

- 本計画においては、OEBKは、15年以上に亘る我が国の経済協力中断期も、自助努力によってマタディ橋の適切な管理を継続した実績から、橋梁点検・維持管理能力の水準は高いと判断される。一方、OEBK自身は補修工事を行う役割を持たないため、補修工事が必要となった場合には、外注が必要となる。そのため、OEBKの舗装維持管理体制・計画を確認し、ソフトコンポーネント等を通じて外注工事のための仕様書作成や工事監督等の技術移転を行うこととする。

以 上

[別添資料] 地図

[別添資料] 写真

マタディ橋道路整備計画 地図



(出典：外務省HP、2021年9月29日アクセス)



(出典：Google マップ、2021年9月29日アクセス)

マタディ橋道路整備計画 現況写真

	
<p>マタディ橋舗装面は損傷し、雨水が溜まっている。</p>	<p>橋面に溜まった水は浸透し、鋼床版に達する。</p>
	
<p>橋面から浸透した雨水は、鋼床版に損傷を与える。</p>	<p>浸透した雨水は、鋼床版や結束部ボルト等の錆や腐食につながる。</p>
	
<p>アプローチ道路の損傷状況。舗装は剥げ、大きくくぼんでいる。</p>	<p>アプローチ道路に穴が開き、水が溜まっている。</p>

出典：JICA・OEBK